



この夏の正解

校長 佐藤 由栄

暑い夏休みが終了しました。

今年の夏休みは、連日の猛暑日で、これまでにない暑さでした。また、感染症が流行ってから以降、4年ぶりに迎える諸制限なしの夏休みとなり、行く先々に人があふれ、人の熱気で熱い休みにもなりました。子どもたちも、この夏休みの間、様々なことを経験して、真っ黒に、そして、一回り大きく成長して学校に戻ってきました。



【新潟市 上堰潟公園のひまわり】

さて、今年の全国高校野球選手権大会（甲子園）も大変熱い、盛り上がった大会となりました。こちらでも感染症禍前に戻し、応援などもフルで行われるようになりました。慶應高校が「エンジョイベースボール」のキャッチフレーズのもとで優勝し、新しい時代の高校野球像の1つを示してくれたような気がします。

しかし、過去には試合をしたくてもできなかった生徒たちが存在しています。それは2020年、甲子園大会が感染拡大で中止になった年の3年生の生徒たちです。彼らの思いを知りたくなり、『あの夏の正解』（早見和真著 新潮社）という本を、高校野球期間中に読んでみました。

この本はノンフィクションで、野球強豪校であり甲子園常連校と言われる2つの高校の3年生を約3ヶ月間追い、彼らの本当の気持ちを聞き出し、インタビュー記事としてまとめています。野球をやるという、たったひとつの目的のために集まった彼らには、揺れ動く感情があります。甲子園が中止になったことに対しても、レギュラーと補欠では、受け止めが違います。思い出作りだけで試合ができるのかと、多くの意見対立も生まれてきます。その彼らの姿や思いに、私自身、たくさんのことを考えさせられました。

特に、最後までレギュラーになれず、野球を離れることになるSくんへの作者の「2020年夏がどういうものか教えてください」という問いの下記の回答には、はっとさせられました。

『大きなものをなくしたからこそ、多くの視点で物事を考えられる人間になれるんじゃないかと思っています。本当に得たものの方が大きいと思っているので、何年後、コロナで甲子園がなくなった世代と紹介されたときには「かわいそう」じゃなく、尊敬されるというか、この期間で学んできたものを認めてもらえるような人生にしていきたいです。自分が失ったものの大きさより、大きく成長できた夏だったんじゃないかと思っています。』

今年の夏の甲子園大会で話題となった新しい価値観や多様性の考え方。また、過去からそれぞれの生徒たちが思い悩んでいる何が自分にとって最も大切なのかという命題。その正解は簡単には見つからないと思います。

燕北小学校の子どもたちも、この夏休みにたくさんのことを身につけてきたと考えています。その中から、自分なりのこの夏の正解を見つけられるといいなと思っています。

2学期の主な行事予定

☆8月30日現在の予定です。延期や中止になる場合がございます。

9月	4日(月) 発育測定 7日(木) 心の授業参観 8日(金) 避難訓練 12日(火) 6年生親善陸上大会 20日(水) 5年生移動教室① 21日(木) 5年生移動教室②	25日(水) 市内教職員研修会
10月	6日(金) 全校弥彦山登山 12日(木) 全校弥彦山登山予備日 15日(日) PTA ガラス拭き 16日(月) 就学時健康診断 20日(金) 文化祭前日準備(6年) 21日(土) 文化祭 23日(月) 文化祭振替休業日	11月 1日(水) マラソン記録会 4日(土) 都市P連ソフトバレーボール大会 7日(月) 燕ジュニア検定 9日(木) PTA常任委員会・三役選考委員会 28日(火) 個別懇談①(希望制) 29日(水) 市内教職員研修会※ 授業4限5年生のみ5限
		12月 1日(木) 個別懇談②(希望制) 2日(金) 個別懇談③(希望制) 19日(火)～21日(木) 学期末4限給食後放課 22日(金) 終業式

全校弥彦山登山について

今年度は10月6日(金)に弥彦山登山を行います。一緒に登っていただくボランティアの方を募集しています。参加を希望される方は、9月7日(木)までに学校までご連絡をお願いします。多くの保護者の方からのご協力をいただけるとありがたいです。

先日マチコミメールでお知らせした通り、バスの都合により延期日が10月12日(木)に変更になりました。ボランティアを希望された方でご都合が悪い方は、学校まで連絡ください。

※市内教職員研修【11月29日(水)】について

燕市内の小学校の教職員が各学校で授業参観を行うなど、一斉研修を行います。本校では、5年生の授業を公開します。その関係で、5年生以外の学年は13時下校、5年生は14時半頃下校となります。

1学期の教育活動の振り返りと2学期以降の取組

学びをきたえるプロジェクト

今年度は、ステップアップ旬間だけでなく、普段からの家庭学習が各学年の目標時間を達成できるように取り組んでいます。約8割近くの児童が、目標時間を達成できました。また、ワークテストの達成率が昨年度より上昇しました。プレテストや補充学習への取組の成果が出ています。一方、週末の家庭学習時間が少ない傾向が見られました。学習内容の紹介や自主学習のやり方を例示するなど、家庭学習に対して児童が見通しをもって、計画的に取り組めるよう指導していきます。

心をたがやすプロジェクト

児童アンケートの肯定的評価では、「学校が楽しい」が96.7%、「みんなの気持ちを考えた行動をしている」が94.2%、「廊下歩行など安心して過ごすためのきまりを守ることができる」が90.9%でした。これらすべての項目が昨年度より上昇しています。また、あいさつボランティアなど、自主的な活動を通して、「笑顔で過ごしやすい学校」にしようという意欲の高まりが見られます。今後も、心が通い合う感覚を味わい、きまりを守ることの大切さや意義を考えて行動できるよう指導していきます。

健康をつくるプロジェクト

児童アンケートの肯定的評価では、「運動が好きという」が95%、「めあてをもって運動に取り組んだ」が97.5%で、昨年度より上昇しました。学習カードやタブレットを活用して、自分のめあてや課題を明確にしたり、振り返りを通して次の意欲につなげたりできたことが成果です。一方、ステップアップ旬間中の「家族と決めた就寝時刻を守れた」は68.9%で昨年度より下がりました。特にメディア時間は、学年や個人によって差が見られました。メディア時間をコントロールすること、生活リズムを整えることの大切さを学び、より良い時間の使い方ができるよう継続して指導していきます。